

## 参考資料：福岡市「環境未来都市」構想の概要

---

2011.9.30 福岡市

## 目次

---

- 福岡市が目指すべき将来像 P.3
- 環境－1 低炭素・省エネルギー(自律分散型エネルギーマネジメントシステム) P.7
- 環境－2 低炭素・省エネルギー(カーボンゼロの移動) P.9
- 環境－3 自然環境・生物多様性(海) P.11
- 環境－4 自然環境・生物多様性(みどり) P.13
- 超高齢化対応－1 アクティブエイジング シティ福岡 P.16
- 超高齢化対応－2 健康福祉コンビニ・生活支援ヒューマンサービス開発 P.18
- 超高齢化対応－3 東アジアとのエイジング研究・技術移転PJ P.20
- その他－1 快適環境ショーケース P.24
- その他－2 自律可能な住民主体の地域づくり P.26
- 取り組みの実施エリアとプロジェクト全体の推進体制 P.30

- 
- 福岡市が目指すべき将来像 P.3
  - 環境－1 低炭素・省エネルギー(自律分散型エネルギーマネジメントシステム) P.7
  - 環境－2 低炭素・省エネルギー(カーボンゼロの移動) P.9
  - 環境－3 自然環境・生物多様性(海) P.11
  - 環境－4 自然環境・生物多様性(みどり) P.13
  - 超高齢化対応－1 アクティブエイジング シティ福岡 P.16
  - 超高齢化対応－2 健康福祉コンビニ・生活支援ヒューマンサービス開発 P.18
  - 超高齢化対応－3 東アジアとのエイジング研究・技術移転PJ P.20
  - その他－1 快適環境ショーケース P.24
  - その他－2 自律可能な住民主体の地域づくり P.26
  - 取り組みの実施エリアとプロジェクト全体の推進体制 P.30

# 福岡市は強みを活かし「人と環境と都市が調和のとれたまち」を目指している。

□「私は、福岡市の様々な財産に磨きをかけ、経済的な成長と安全・安心で質の高い暮らしのバランスがとれた“人と環境と都市が調和のとれたまちづくり”を進め、国内外から人材が集い、交流し、創造し、訪れる人も、住む人も、誰もが夢を抱き街中に元気が溢れている、アジアのリーダー都市づくりに挑戦します。」



福岡市長 高島宗一郎

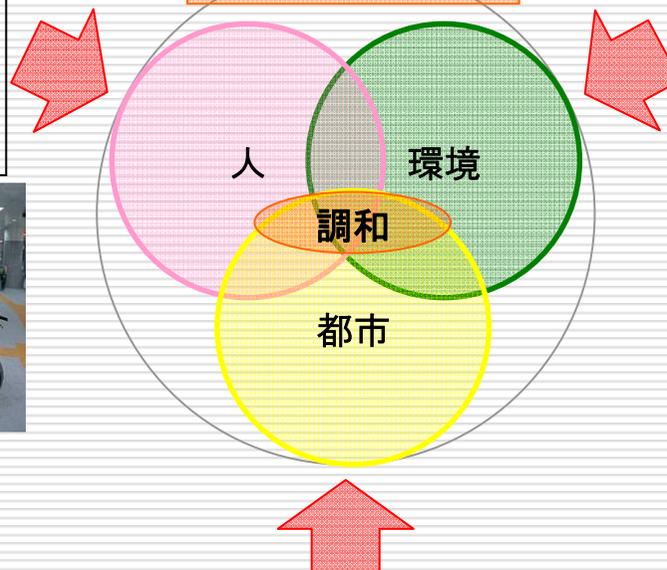
(平成23年度 福岡市市政運営方針より抜粋)

## 【強み】

- ・NPOアジア・エイジングビジネスセンター (AABC)によるアクティブエイジングの取り組み
- ・先駆的なUDへの取り組み
- ・開放的でおおらかな「おもてなしの心」に満ちた市民性



## 福岡市の将来像 (ユニバーサルシティ福岡)



## 【強み】

- ・環境にやさしいコンパクトな都市構造
- ・豊かな自然と都市機能の近接性
- ・大学との連携による独自の新エネ技術



福岡西部副都心  
Eまちづくり

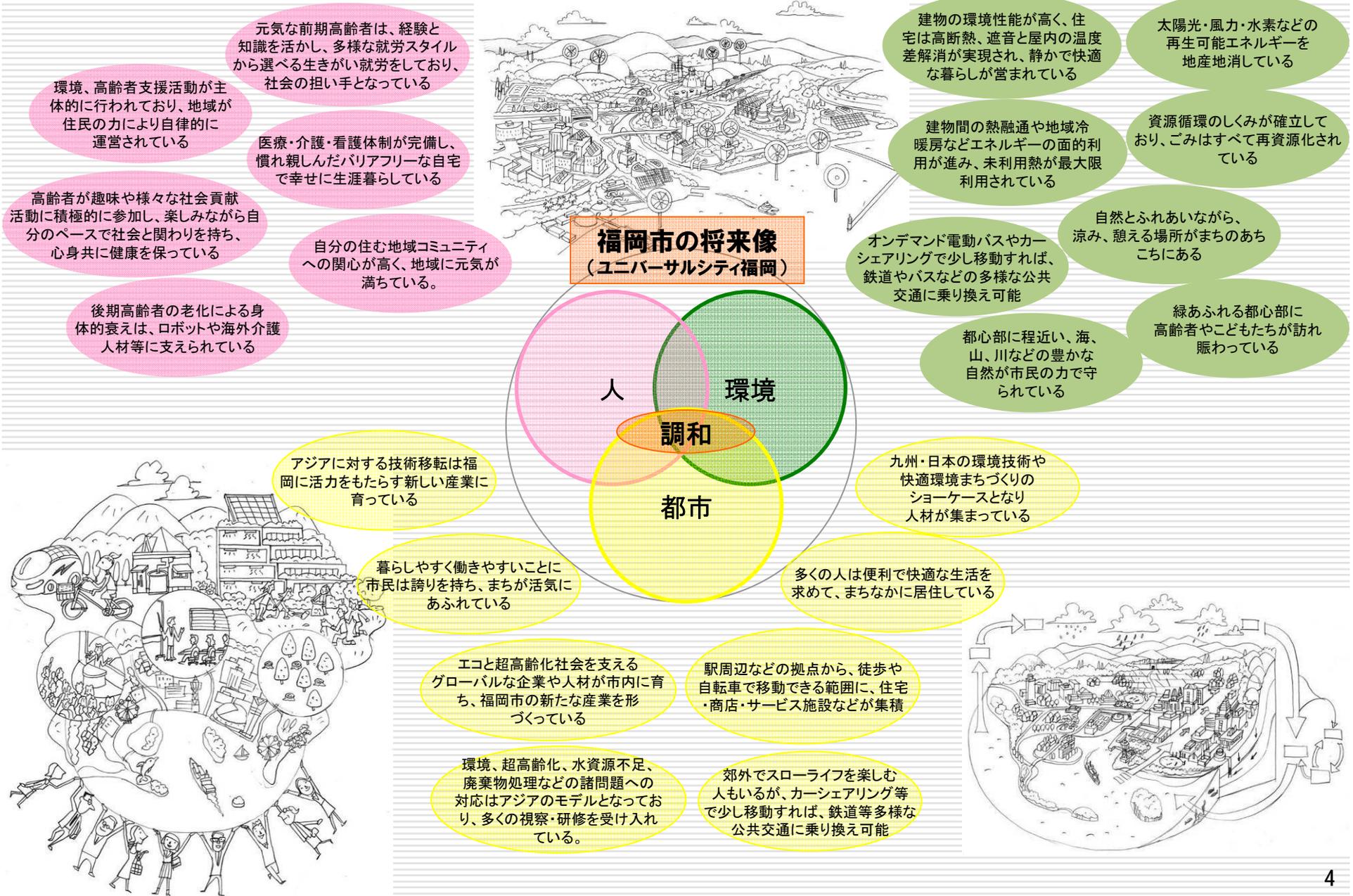


## 【強み】

- ・アジアと国境を接する唯一の大都市圏
- ・歴史的なアジアとの交流実績
- ・エリアマネジメント団体など多様な主体による課題解決への取り組み実績



# 2050年の福岡市「人と環境と都市が調和のとれたまち」イメージ



## 福岡市を取り巻く脅威・外部環境と今回提案する課題解決の方向性

脅威・外部環境	今回提案する課題解決の方向性
<b>【人】人口減少、超高齢化</b>	
○若者が高齢者を支える仕組みや、医療のみで健康を維持することの限界	→ ●アクティブエイジングシティ福岡
○人口減少に伴う消費市場の縮小による経済の低迷と都市活力の低下	→ ●アクティブエイジングシティ福岡
○行政のみの高齢者福祉サービスの限界	→ ●健康福祉コンビニ・生活支援ヒューマンサービス開発
○世界で先例がない日本の高齢化の規模・スピード	→ ●東アジアとのエイジング研究・技術移転PJ
<b>【環境】エネルギー、環境</b>	
○大規模集中型エネルギー供給の限界	→ ●自律分散型環境エネルギーマネジメントシステム
○都心部渋滞の深刻化に伴う大気環境の悪化	→ ●カーボンゼロの移動
○河川流域の開発に伴う博多湾の汚濁負荷量の増加	→ ●自然環境・生物多様性(海)
○都心部の開発に伴う緑被率の減少	→ ●自然環境・生物多様性(みどり)
<b>【都市】経済活動、交流、地域社会</b>	
○アジアの経済統合とボーダレス化の進展	→ ●快適環境ショーケース
○アジア諸国の急速な高齢化	→ ●快適環境ショーケース
○アジアの経済成長にともなう環境負荷の増加	→ ●快適環境ショーケース
○地域コミュニティの弱体化と行政の限界	→ ●自律可能な住民主体の地域づくり

福岡市の理想像「人と環境と都市が調和のとれたまち」の実現

- 
- 福岡市が目指すべき将来像 P.3
  - 環境－1 低炭素・省エネルギー(自律分散型エネルギーマネジメントシステム) P.7
  - 環境－2 低炭素・省エネルギー(カーボンゼロの移動) P.9
  - 環境－3 自然環境・生物多様性(海) P.11
  - 環境－4 自然環境・生物多様性(みどり) P.13
  - 超高齢化対応－1 アクティブエイジング シティ福岡 P.16
  - 超高齢化対応－2 健康福祉コンビニ・生活支援ヒューマンサービス開発 P.18
  - 超高齢化対応－3 東アジアとのエイジング研究・技術移転PJ P.20
  - その他－1 快適環境ショーケース P.24
  - その他－2 自律可能な住民主体の地域づくり P.26
  - 取り組みの実施エリアとプロジェクト全体の推進体制 P.30

## 環境－1 低炭素・省エネルギー(自律分散型エネルギーマネジメントシステム)

### 目標

#### 評価指標・数値目標

- ①市域の温室効果ガス排出量 (1990年度比80%削減)
- ②自律分散型の環境エネルギーシステムの構築状況 (2050年度100%達成)

福岡市全体で災害に対応した自律分散型のエネルギー・マネジメントシステムの構築を目指す。

### 取組方針

- ①自律分散型のエネルギーシステム構築
- ②環境エネルギーシステムの革新に伴う暮らしやすさの更なる向上
- ③環境エネルギーシステム、個別技術・マネジメント手法のパッケージ化と国内外への発信
- ④①～③を支える環境エネルギーのアジア人材拠点の整備

並行して進める取組: 環境-2、超高齢化-1、その他-1

## 創造される新しい価値

### 環境価値

- ・ 温室効果ガスの排出量減、温暖化影響の緩和に貢献

### 社会的価値

- ・ 災害時のセーフティネット確立
- ・ 高齢化・国際化への対応
- ・ コミュニティの再構築、社会への帰属意識と安心感
- ・ 暮らしやすさや安心・安全を求めて人が集まる都市

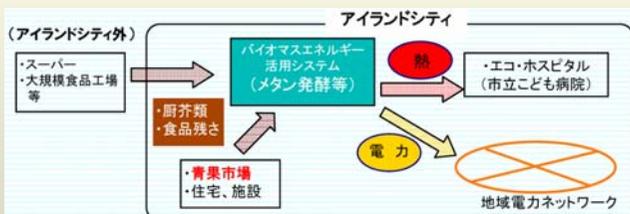
### 経済的価値

- ・ 安心・安全を求めて企業や住民が集まり、雇用創出、経済活性化
- ・ エネルギーシステムのパッケージ化による新たなビジネスへの展開
- ・ アジアへの新たなビジネスモデルの提供

# 福岡市全体で災害に対応した自律分散型のエネルギー・マネジメントシステムの構築

## 「アイランドシティ・スマートコミュニティタウン」プロジェクト ～地域内エネルギーネットワークの構築～

### バイオマスエネルギー活用システムの導入



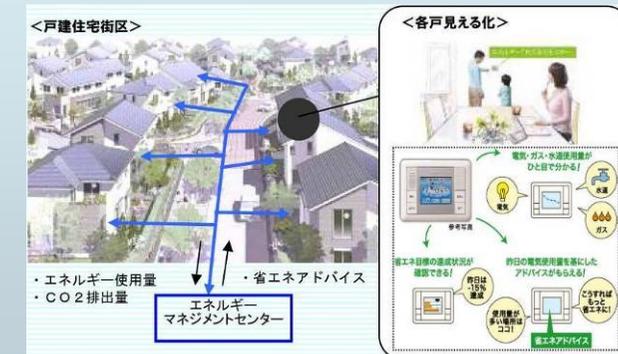
### 新設こども病院のエコホスピタル化

建設予定の市立こども病院において、再生可能エネルギーの導入や、生体・運用センシングによる最適制御・高効率システムの導入のほか、熱回収等の省エネ対策等を講じ、エコホスピタル化を図る。

### 大規模太陽光発電システムの導入

- ・アイランドシティ内の大型施設や利用可能なオープンスペースに太陽光発電パネルを設置し、発電電力をアイランドシティ内で利用する大規模太陽光発電システムを整備。
- ・埋立完了から施設立地までの間、暫定的にシステムを設置することが可能な敷地が大量に存在するアイランドシティの特性を活かして、これらの用地への太陽光発電システムを設置。

### 「CO2ゼロ街区」における先導的取組み(EMS)



### 風力発電(浮体式海上風力発電を含む)の導入

- ・アイランドシティ内に風力発電を設置し、発電電力をアイランドシティ内で利用する風力発電システムを構築する。
- ・また、博多湾で行う浮体式海上風力発電の実証実験の成果を活用する。



## 環境-2 低炭素・省エネルギー(カーボンゼロの移動)

### 目標

#### 評価指標・数値目標

- ①電気バスの導入路線数(導入路線100%)
- ②再生可能エネルギーの供給網が確立されたカーボンゼロの移動拠点の導入率(導入率100%)

あらゆる世代や観光客など  
誰もが自由に多様な手段  
でカーボンゼロの移動が  
できる。

### 取組方針

- ①交通網に対応した再生可能エネルギー供給システムの確立
- ②次世代の公共交通サービスの導入
- ③次世代自動車の導入促進と市民のライフスタイルの転換

並行して進める取組:環境-1、超高齢化-1、  
その他-1

## 創造される新しい価値

### 環境価値

- ・カーボンゼロの移動の実現
- ・再生可能エネルギー利用による環境負荷軽減

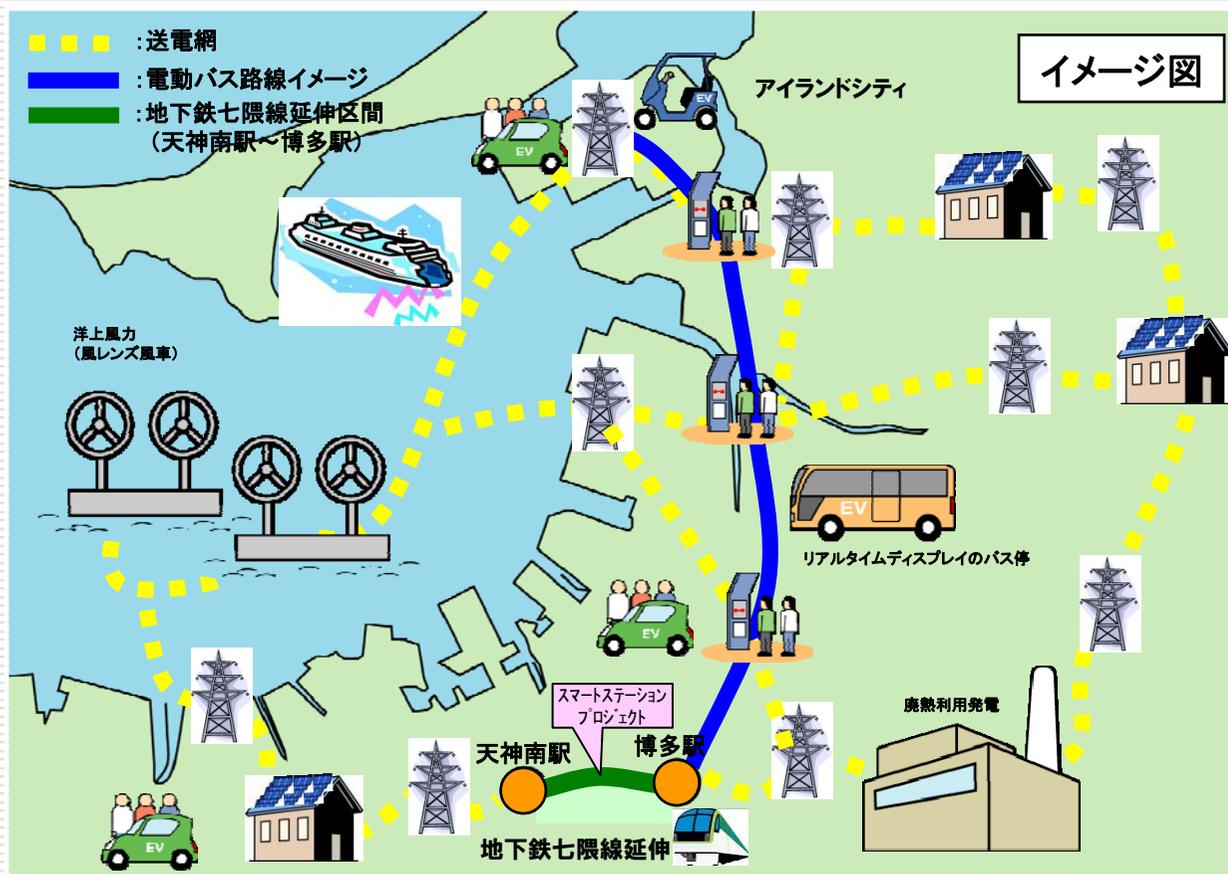
### 社会的価値

- ・災害時における電力の安定供給
- ・公共交通の充実による観光客、高齢者等、交通弱者への交通手段の提供

### 経済的価値

- ・スマートグリッドに関連する分野の市場および雇用の創出
- ・観光客、高齢者等の交通手段確保による行動圏の拡大に伴う消費拡大

# カーボンゼロの移動が可能な多様な交通手段



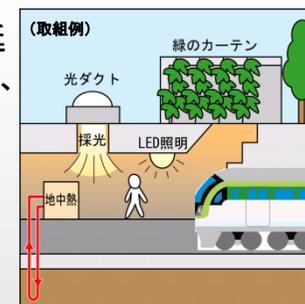
## 電動バスプロジェクト



輸送エネルギーがEV自動車よりもさらに低い電動バスについて、アイランドシティ周辺での実証実験運行の結果を活用し、福岡市内での導入及び普及を目指す。

## スマートステーションプロジェクト

地下鉄七隈線延伸区間において、エネルギー関連企業や大学等と官民連携して、最新エネルギー技術の導入を図る。さらに、導入した技術を展示し、技術開発や人材育成の場として活用することで、最新技術の普及・拡大を目指す。



## 小型モビリティプロジェクト



小型モビリティ(一人乗用電気自動車等)をアイランドシティ内の各種施設に配置し、シェアリングを行う。EVなど既存モビリティと小型モビリティの機能分担や、最適な利活用システムの運用を目指す。

## EVカーシェアリングプロジェクト



自動車交通による温室効果ガス削減や移動手段の効率化、クルマも「所有」から「利用」への転換による「大都市型交通システム」の普及促進を目指す。

## 環境－3 自然環境・生物多様性(海)

### 目標

#### 評価指標・数値目標

- ①博多湾へ流入する汚濁負荷量/博多湾の水質(環境基準値以下)
- ②福岡式「開発・漁業・自然が共生した海辺づくり」の国際協力都市数(10都市)

博多湾の環境は大幅改善、自然・港湾・漁業が共生した持続的利用が可能な博多湾を創造し、技術移転によりアジア沿岸都市に国際貢献する。

### 取組方針

- ①環境モニタリングやシミュレーション技術の活用による博多湾へ流入する汚濁負荷量の大幅減少、貧酸素解消
- ②干潟や藻場等と共生した港湾整備
- ③博多湾の食などの恵みをブランド化
- ④プロジェクト全体を活用した環境教育や市民活動のプログラム化
- ⑤流域全体をふまえた海辺づくりや技術のパッケージ化と国内外への発信

並行して進める取組:環境-4、その他-1、2

## 創造される新しい価値

### 環境価値

- ・ 博多湾の水質改善
- ・ 海域生態系の回復と生物資源の増加
- ・ 豊かな自然による良好な景観の創出

### 社会的価値

- ・ 生き物とのふれあい機会向上による人々の心身の健康改善
- ・ 国際協力による都市間連携の強化

### 経済的価値

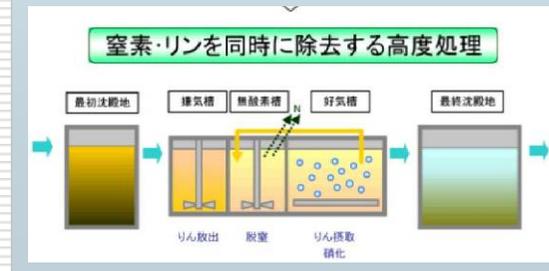
- ・ 博多湾の食ブランド確立、地域実体験型の環境教育プログラムによる観光・サービス業の活性化

# 博多湾の水質の大幅改善、持続可能な博多湾を再生し、アジア沿岸都市へ貢献



## 下水高度処理プロジェクト

- 博多湾への窒素の流入量の80%が水処理センター由来。博多湾の更なる水質改善に向けて窒素除去に取り組んでいる。
- リンだけでなく、窒素も同時に処理できる高度処理により、博多湾への窒素の汚濁負荷量を大幅削減する。



## 博多湾サステナブルプロジェクト

- 博多湾の恵みを題材に海の持続可能な利用の環境教育プログラム化、ビジネスモデル化。
- 山、川、海まで食や自然の恵み、歴史などに関する地域の様々な主体の連携、創出。
- 博多湾の食ブランドの確立など、漁業、観光業等の振興へ展開。

## 海から山へアオサ資源化プロジェクト

- 大量発生するアオサの堆肥化や、メタン発酵等のバイオマスエネルギーとして活用を図る。



## 下水分流化プロジェクト

- 都心部とその周辺約2500haを合流式下水道で整備されていることから、一定以上の降雨時には博多湾への汚濁負荷の原因に。
- 汚濁負荷が高く、浸水対策が急がれる博多駅周辺及び天神周辺地域において、浸水対策と連携した下水道の分流化事業を実施する。
- そのほか、民地の分流化支援のため、工事費助成制度を運用。

## 環境－4 自然環境・生物多様性(みどり)

### 目標

#### 評価指標・数値目標

①市街化区域の緑被率(40%) (H19年: 20.7%)

都心部のみどりが倍増、  
人と生きものがにぎわうまち  
となり、その再生・維持管理  
手法がパッケージ化され、国  
内外に展開される。

### 取組方針

- ①市街化区域のみどりの増加
- ②都心部での生物の生息環境創出
- ③都心部のみどり再生・維持管理手法のパッケージ化と国内外への発信

並行して進める取組: 環境-3、超高齢化-1、  
その他-1

## 創造される新しい価値

### 環境価値

- ・ みどりの増加とそれに伴う生物の生息環境の創出・改善
- ・ ヒートアイランド現象の緩和
- ・ 雨水浸透の促進による地下水涵養、博多湾への負荷減少
- ・ 都心部の緑環境改善によるオフィス環境価値の向上

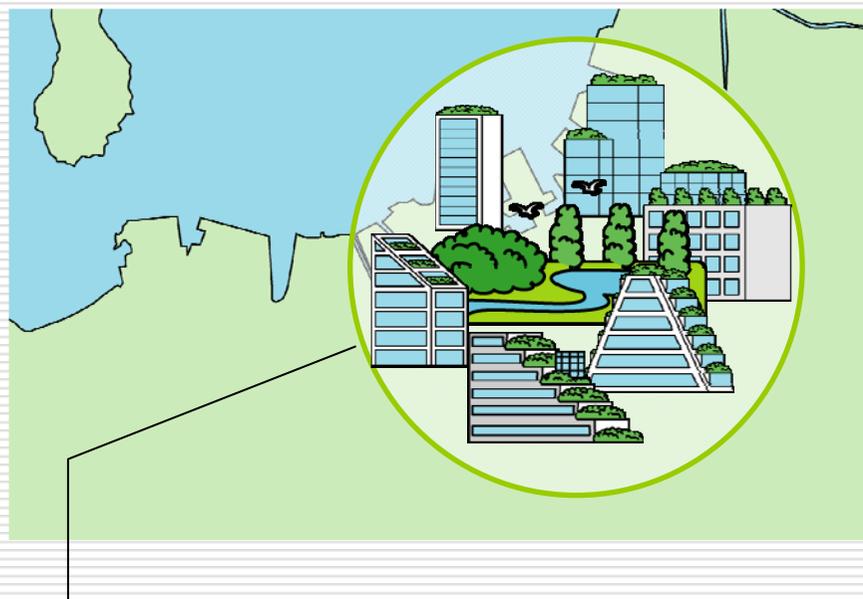
### 社会的価値

- ・ 生き物とのふれあい機会向上による人々の心身の健康改善
- ・ 維持管理や保全活動への参加による地域コミュニティの絆強化
- ・ 都心部の快適性向上
- ・ 郊外住居者の都心への回帰による都市の集約化の促進

### 経済的価値

- ・ 緑の増大による維持管理のための雇用機会創出、高齢者の働く場の提供
- ・ 高齢者が都心で活動しやすい環境へ変わることによる消費拡大、経済活性化

# 都心のみどり倍增、人と生きものがにぎわい、その手法が国内外に展開



## 都心で森林浴プロジェクト

- ・福岡市内の工業地域等では緑被率約5.5%、商業地域では緑被率3.6%以下、特に都心部では1.7%とみどりが非常に少ない。
- ・したがって、工業・商業系地域、特に都心部の緑被率の大幅な改善が必要。
- ・一方で、都心部には老朽化した建物が多くあり、更新の時期を迎えている。
- ・更新を機に、都心部の敷地や建物における質の高いみどり空間の形成を図る。
- ・「緑化地域制度」を導入し、条例の制定により対象敷地面積を引き下げ、一定規模以上の建築物の新築・増築にも緑化を義務付ける。

凡例	
	主要な緑空間
	主要な街路樹
	中央回遊軸
	景観・緑・重点整備地区、エリア
	景観・緑・重点整備地区、通り
	景観・緑づくりの象徴となる都市公園
	面的な緑空間形成エリア



- 
- 福岡市が目指すべき将来像 P.3
  - 環境－1 低炭素・省エネルギー(自律分散型エネルギーマネジメントシステム) P.7
  - 環境－2 低炭素・省エネルギー(カーボンゼロの移動) P.9
  - 環境－3 自然環境・生物多様性(海) P.11
  - 環境－4 自然環境・生物多様性(みどり) P.13
  - 超高齢化対応－1 アクティブエイジング シティ福岡 P.16
  - 超高齢化対応－2 健康福祉コンビニ・生活支援ヒューマンサービス開発 P.18
  - 超高齢化対応－3 東アジアとのエイジング研究・技術移転PJ P.20
  - その他－1 快適環境ショーケース P.24
  - その他－2 自律可能な住民主体の地域づくり P.26
  - 取り組みの実施エリアとプロジェクト全体の推進体制 P.30

# 超高齢化対応-1 アクティブエイジングシティ福岡

## 目標

高齢者を福祉・医療施策の対象から、まちの活力創出の源や社会の担い手に転換し、幸せな長寿社会をつくる。

### 評価指標・数値目標

- ①高齢者の就業率
- ②高齢者の活動度
- ③老人医療費

## 取組方針

- ①高齢者の活動の場づくり  
(雇用・都市文化・生涯学習)
- ②高齢者が活動しやすい環境づくり
- ③高齢化対応ビジネスプラットフォーム
- ④高齢者の健康増進

並行して進める取組: 環境-1、2、4、その他-1、2

## 創造される新しい価値

### 環境価値

- ・活力や労働力の確保
- ・温室効果ガスの削減(ハイブリッドバス等の導入促進による)
- ・再生可能エネルギー活用による省電力化、温室効果ガス削減

### 社会的価値

- ・高齢者の社会参画、ソーシャルキャピタルの向上
- ・高齢者の健康増進
- ・災害時のセーフティネット確立

### 経済的価値

- ・超高齢化対応ビジネス、雇用創出
- ・高齢者対象の消費市場創出

# 高齢者をまちの活力創出の源や社会の担い手に転換し、幸せな長寿社会をつくる。

## 産学官民協働アクティブエイジングプロジェクト

全ての世代の市民がいきいきと活動できるまちを目指す

- 高齢者が活動するために必要な情報をワンストップで得られるプラットフォーム  
「福岡アクティブ・エイジング・リソースセンター」の設立
- 志のある高齢者が社会貢献活動できる仕組みづくり  
「福岡版RSVP事業(リタイア&シニアボランティアプログラム)」
- 高齢者が知識と経験を活かし、働き方のスタイルを選びながら生きがい就労ができる仕組みづくり  
「就労・起業のための高齢者教育プログラム」の策定  
「市街化調整区域利用型ルリタンクラブの結成」  
(耕作放棄地対策を農村と都市の交流にて取り組む)
- 関心でつながるコミュニティづくり  
「天神大人計画」(都心部天神で高齢者による活動の場づくり)



## バス交通の充実による環境・超高齢化への対応

バスネットワークの充実・高機能化、モデルとなるバス交通を確立

- ネットワークの強化  
「都心部における基幹的なバス路線」の構築  
「福岡都市高速の環状化や福岡外環状道路の完成を契機」として新たなバス路線  
「きめ細かなバス路線網」の構築
- 環境面への対応  
「ハイブリットバス等の導入促進」による更なる低公害化  
「電動バスの実証実験」等をとおした次世代バスの導入検討
- 高齢者への配慮  
「ノンステップバス等の導入促進」による更なるユニバーサルデザインの推進
- バス情報提供の高度化  
「バスナビシステム」の高機能化と普及促進



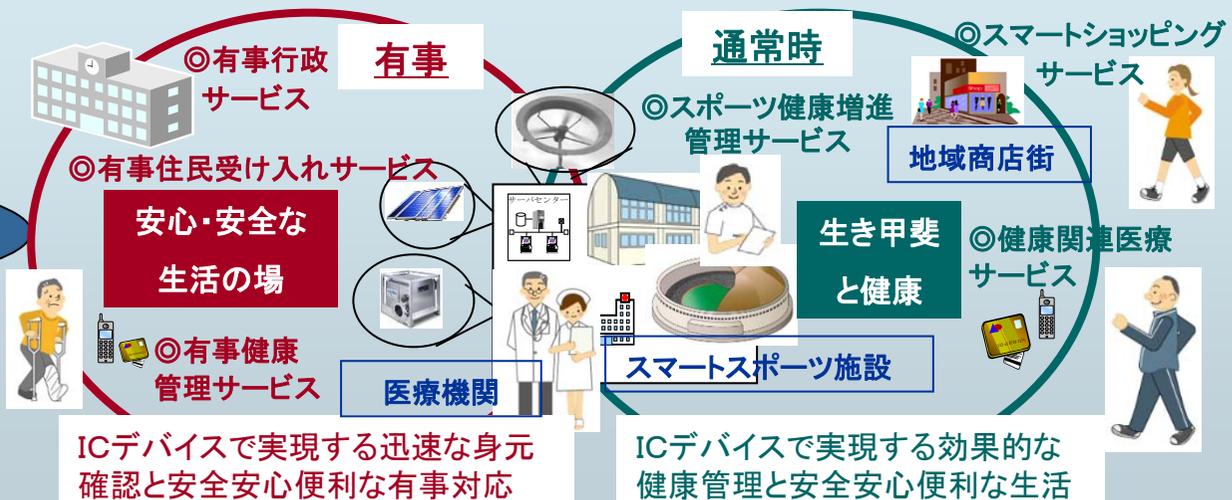
## 有事・災害対応型スマートスポーツ施設を用いた健康支援サービス

高齢化社会に生きがいと健康を創造する

通常時も活きる投資効果の高い防災対策  
再生可能自然エネルギーでの  
発電と余剰電力利用

共通サービス情報プラットフォーム

地域ICカード、IC携帯等のICデバイスを用いた安心安全便利な生活  
番号制度で用いる  
ICカードの有効活用も効果的



## 超高齢化対応－2 健康福祉コンビニシステム、生活支援ヒューマンサービスの開発

### 評価指標・数値目標

- ①介護保険給付費
- ②要介護認定者数(抑制)
- ③健康福祉コンビニシステムの延べ参画事業所数

### 目標

公による福祉政策偏重からの脱却、企業・市民の連携による生活支援サービスで補完する仕組み(＝健康福祉コンビニシステム)への転換

### 取組方針

- ①既存ストックを活用した民間・公的地域サービスの統合と収益モデルの構築
- ②コンシェルジュ人材育成やICT活用を通じた地域サービス創出・相互交流活性化
- ③生活支援を効率的・効果的におこなうための人材育成・技術開発
- ④ケアに関する先進技術開発・実証実験の展開

並行して進める取組:その他-1、2

## 創造される新しい価値

### 環境価値

- ・地方財政の持続性の確保(超高齢社会でも持続可能な社会保障)
- ・内需循環型の産業群の創出

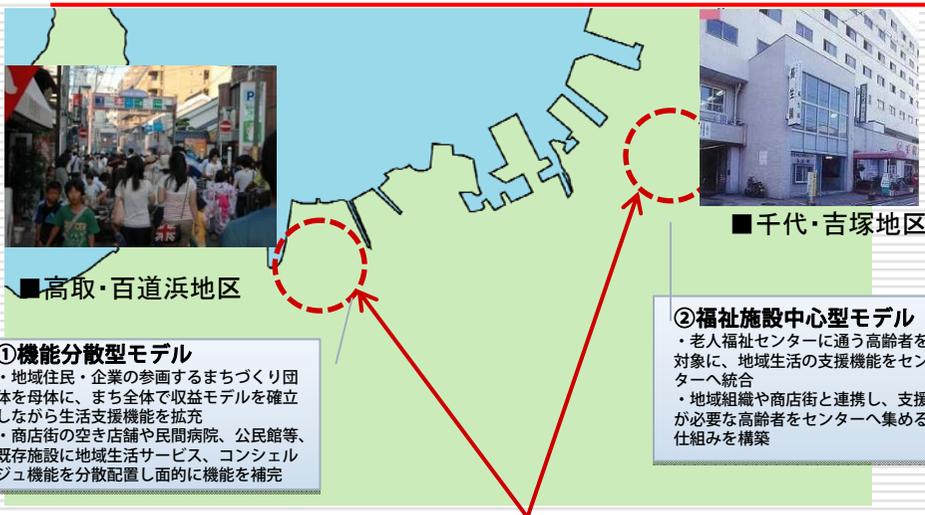
### 社会的価値

- ・高齢者の社会参画・ソーシャルキャピタルの向上
- ・高齢者の地域定住を支える社会的なサービスインフラの創出
- ・新たなケア技術の開発促進

### 経済的価値

- ・生活支援サービス分野の市場創出
- ・超高齢化対応ビジネス・雇用の創出

# 公偏重から、企業・市民の連携による生活支援サービスへの転換



## 住民参加・技術開発型ナーシングホーム

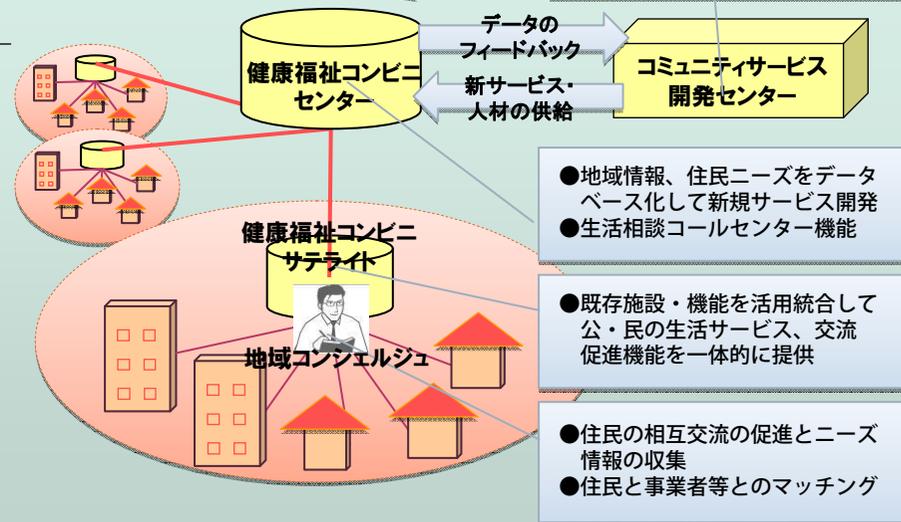
- 24時間対応で高齢者の生活と老化の進行をモニターできる住民参加・技術開発型ナーシングホーム(介護保険施設や高齢者住宅など)を整備する(当初は既存施設からスタート)。
- 技術開発に協力する高齢者(研究者自身など)が入居生活を送り、老化の進行に合わせた介護技術の改善・開発や介護ロボット等介護機器の開発実験を行うことで、介護に関する最新技術を開発する。
- 介護施設従事者の業務プロセス分析や、外国人看護師・介護士の受入改善など、介護マネジメントに関する研究も実施。

各拠点は既存の施設を活用し、ソフト面から機能を活性化

- 地域コンシェルジュやICTを活用できる人材の育成
- 地域ニーズの情報をもとに、民間企業や市民と連携したサービス開発を主導

## 健康福祉コンビプロジェクト

- 公的な色合いの強い福祉、医療、子育て、教育等の機能と、民間の小売、物流等の機能を1カ所に併設することで、効率的で地域密着型の生活支援を実現する。
- サービス提供は、基本的に民間・住民主導。地域特性に応じて民間で完結するもの、公的施設に民間機能を併設するもの、そのいずれの形態も開発する。
- 社会的課題を集約・分析して事業に生かすソーシャルマーケティングの手法を導入して収益の多角化、自立運営を可能にするモデルを開発する。
- ICT技術を活用して、情報収集の円滑化、各主体への情報共有の同期化を実現する。
- 「地域コンシェルジュ」は専従型のみではなく、例えば民間の店舗スタッフや福祉施設のケアマネージャーが兼任でも効果をあげる人材育成システムとICT活用モデルを構築



## 生活支援・介護・福祉ロボット

- 高齢者施設等での実験利用によるニーズ調査
- 市内RT関連企業、大学等研究機関、福岡市による調査結果の分析、共有化に基づく介護・福祉ロボットの製品化
- 製品化した介護・福祉ロボットの実験利用と改良・普及促進



## 超高齢化対応－3 東アジアとのエイジング研究・技術移転PJ

### 評価指標・数値目標

- ①視察・研修受入人数
- ②介護人材養成人数
- ③介護・医療分野のブリッジ人材育成人数
- ④ビジネスマッチングの件数
- ⑤研究受託、技術移転件数

### 目標

研究や技術移転など，東アジアとの交流を通じて，アジアのエイジング・リーダー都市となる

### 取組方針

- ①東アジアとのエイジング共同研究プラットフォーム構築
- ②日本式「KAIGO」など福祉・医療・衛生関連分野における資格の東アジア標準化
- ③高齢化対応サービス・製品の輸出・技術移転支援

並行して進める取組：その他-1

## 創造される新しい価値

### 環境価値

・東アジアの超高齢化社会でも持続可能な社会保障システムの構築

### 社会的価値

・超高齢化社会に対応する社会システムへの変革の構築を支援

### 経済的価値

・東アジアの超高齢化市場の開拓、健康・福祉サービス産業のグローバル化支援

# 東アジアの高齢化に向けたエイジング研究・技術移転

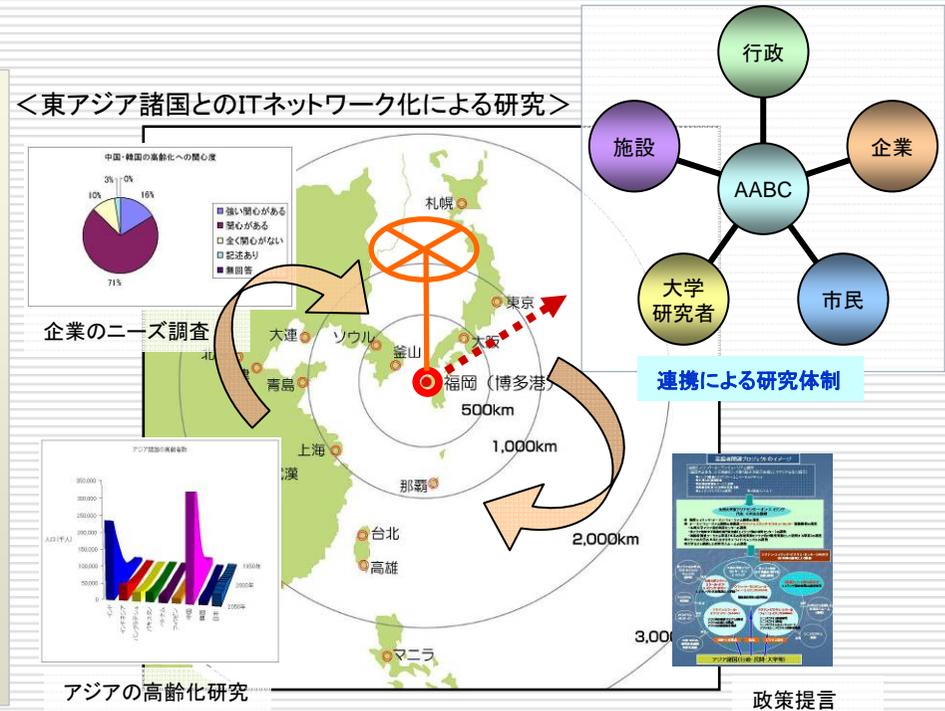
## 東アジア高齢社会研究センター創設

ITネットワーク型知のプラットフォームバーチャルインスティテュート  
市民・行政・団体・企業・大学(研究者)等による  
情報集約・地域分析・政策分析・政策提言・まちづくり設計・事業開発・計画

- 日本式「KAIGO」を東アジアの技術標準とすることを目指してNPO法人アジア・エイジングビジネスセンター(AABC)を中心に、行政・企業・市民団体・研究者等が参加する研究プラットフォーム。日本国内だけではなく、東アジアの主体が参加可能なITネットワーク型フォーラムの形成。
- 資格の共有化が進むとアジアにおける医療福祉技術・人材の育成が盛んに。先駆的な日本に各国の大学(院)サテライトの設置を認める。また欧州のErasmus Mundus制度をモデルにした単位の相互取得に取り組み、いちはやく医療・福祉分野のグローバル化に対応する。
- 健康福祉コンビニの前提となる地域分析手法の開発(地域高齢化GIS分析, 地域ニーズ解析など)



研究例: 地域高齢化GIS



## エイジングJETRO

国内の企業がアジア諸国のエイジングマーケットに進出するための情報提供拠点を設置し、アジアの高齢化状況・ビジネス慣習・事業展開するための相手窓口や手続き等の紹介・進出する関連企業間のコーディネートを行う。

- 研究・人材育成と並び重要となるエイジング・ビジネス。研究家・企業との連携を促し日本のエイジング産業(健康産業を含む)のグローバル化を支援する事業と共に、ビジネス人材を育成する。
- アジア諸国のエイジングマーケット進出支援
- アジアのエイジングマーケットの情報提供拠点



福岡ビジネス創造センター  
(進出支援オフィス)

「アジア高齢社会プラットフォーム構想」の実現を目指すアイランドシティに健康・医療・福祉の機能を集積し、エイジング研究などの拠点化を図る。



股・膝関節外科専門病院



特別養護老人ホーム



スポーツ研修施設

<アイランドシティの完成イメージ>

# アジアにおけるエイジング研究拠点への取り組み

## これまでの取り組み(2004年~2010年)

**エイジング・ツーリズム事業**  
東アジアを中心に日本式介護(高齢者福祉、認知症対応)や児童福祉・障がい者福祉の施設視察・支援技術の確認・情報交換を目的とした交流を支援する取り組み。NPO法人AABCと福岡市の協働事業として取り組む。視察時のルールづくり、調整体制づくりをおこなう。



**エイジング・スクール事業**  
日本における介護の概念、社会保障制度、福祉施策の体系、関係行政機関との意見交換などをおこなう。韓国の梨花女子大学、ソウルサイバー大学等からは単位の一部として認定されており、施設実習もおこなう。NPO法人AABC



**海外人材受け入れ事業**  
EPAに始まる海外人材の医療・福祉分野への受け入れについて、日本の施設の体制構築を支援するプログラムを作成し、実証事業をおこなう。九州一円の人材不足に悩む施設とEPA人材受け入れの円滑化を目指す。麻生医療福祉専門学校×文科省モデル事業



<成果報告会の様子>

## 次のステップへの布石(2010年)

### アジア太平洋アクティブエイジング会議2010における活動報告

2010年福岡市で開催された会議にて、福岡における取り組みを披露。確実に医療福祉系人材が不足する将来においては、各国独自の受け入れ態勢づくりだけでは間に合わないとの共通認識から、アジアにおける医療福祉系資格の共通化、人材育成プログラムの共有に取り組むべきとの結論に至る。また日本は次代のアジアの課題を克服するためにも積極的に海外に情報を発信すべきとの共同宣言を採択。



主な参加機関  
国連人口問題研究所  
WHO  
国際老年学会  
韓国政府・上海市



## あらたなステージへ

今後はソフトを軸にした継続的な越境活動に。福岡を拠点にアジアに貢献する

### 資格の共有化に向けた活動

欧州のEuropean Care Certificate制度をモデルに看護・介護・コメディカルから衛生分野の資格について共通の認定基準を作ることで、参入障壁を破る一方、未整備国の人材育成体制作りの指針とする。ACAPでは2011パリ大会より3か年かけて部会を設置しこの課題に取り組む。またACAPはハワイAPECにアプローチしこの活動を紹介する予定。

2004年:海外からの視察受け入れが増加。トラブルも増加。  
2005年:エイジングプラットフォーム構想検討委員会設置  
2006年:NPO法人アジア・エイジング・ビジネスセンター設立。視察受け入れ本格化。韓国の単位認定講座を実施。福祉通訳者養成。  
2010年:ACAP開催。中国からの視察急増。

2011年:資格共有化の部会をACAPに設置。工程作り。  
2012年:課題の抽出と制度案の制定。中間報告  
2013年:実証事業と課題の確認。アジア版Care Certificate制度案の発表。

- 
- 福岡市が目指すべき将来像 P.3
  - 環境－1 低炭素・省エネルギー(自律分散型エネルギーマネジメントシステム) P.7
  - 環境－2 低炭素・省エネルギー(カーボンゼロの移動) P.9
  - 環境－3 自然環境・生物多様性(海) P.11
  - 環境－4 自然環境・生物多様性(みどり) P.13
  - 超高齢化対応－1 アクティブエイジング シティ福岡 P.16
  - 超高齢化対応－2 健康福祉コンビニ・生活支援ヒューマンサービス開発 P.18
  - 超高齢化対応－3 東アジアとのエイジング研究・技術移転PJ P.20
  - その他－1 快適環境ショーケース P.24
  - その他－2 自律可能な住民主体の地域づくり P.26
  - 取り組みの実施エリアとプロジェクト全体の推進体制 P.30

## その他－1 快適環境ショーケース

### 目標

#### 評価指標・数値目標

- ①環境及び超高齢化対応に関する視察・研修受入人員
- ②アジア各都市における環境プロジェクト支援件数
- ③アジア各都市における超高齢化対応プロジェクト支援件数

交流拠点都市という特性を活かし、環境と超高齢化対応等に関するコンテンツをビジネスにつなげる仕組みを構築

### 取組方針

- ①有償視察・研修のプログラム作り
- ②視察・研修受入人材の育成
- ③アジア都市からの視察・研修者の誘致
- ④アジア諸都市への営業・展開人材の育成
- ⑤外販パッケージ作り

並行して進める取組：環境-1、2、3、4  
超高齢化対応-1、2、3

## 創造される新しい価値

### 環境価値

- ・福岡市の全体の都市環境の自律的な向上
- ・アジア全体の都市環境の底上げ

### 社会的価値

- ・新規事業展開による都市の安定的な雇用の創出
- ・アジアの人材育成、アジアネットワーク構築による、アジア全体の融和への貢献

### 経済的価値

- ・視察・研修受入によるインバウンドの増加
- ・都市づくり支援に係るアジアからの報酬の獲得
- ・上記に伴う関連企業の海外展開

# 環境と超高齢化対応等に関するコンテンツをビジネスにつなげる仕組みを構築

- アジア各都市とのネットワークを活用しながら、短期的に視察・研修受入事業、長期的に都市づくり支援事業で自律モデルを構築する。

## ■短期：視察研修受入事業

- ・ 視察・研修プログラムの作り込みと有償化 **福岡市自身が進化**
- ・ アジアネットワークを活用した誘致活動
- ・ 中国政府による研修受入機関としての認定取得

## ■長期：都市づくり支援事業

- ・ アジア各都市の都市づくり支援
- ・ 関連企業の海外展開

- ◆ 高齢化対応インフラ、政策、システム
- ◆ 低炭素インフラ、政策、システム
- ◆ 水資源(上下水道)インフラ、政策、システム
- ◆ ごみ処理インフラ、政策、システム
- ◆ まちづくりインフラ、政策、システム など

- ◆ 高齢化・環境関連政策の導入支援・コンサルテーション
- ◆ 高齢化・環境関連システムの導入支援・コンサルテーション
- ◆ まちづくりや観光戦略を含めた総合的な都市づくり支援・コンサルテーション など

**着手済**

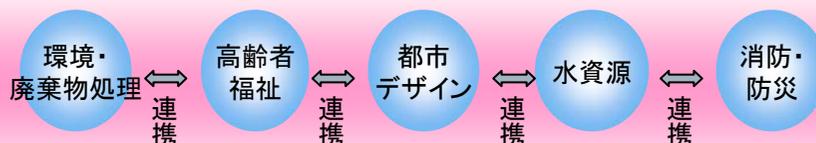
✓ 視察・研修を受け入れ、人材を育成し、ネットワークを作ると同時に、ニーズの高い分野を把握する。

✓ 短期事業で育てた人材とネットワークを活用して、アジア各都市へ仕組みを販売する。

### ○現在の取組

- ・事業名：「福岡市国際・視察研修受入事業」(平成21年度より実施)
- ・目的：国際貢献、ネットワーク形成、拠点性向上
- ・受入実績：平成21年10月～平成23年8月 約1000名

### ・着手済みの受入分野



《視察・研修者のニーズに対応した複数の分野で視察・研修を実施することも可能》

### ・視察・研修申込みの流れ



## その他ー2 自律可能な住民主体の地域づくり

### 評価指標・数値目標

- ①地域集客数
- ②医療費や情報配信コストの削減費用
- ③孤独死や徘徊事故者の減少数

### 目標

経済的にも持続可能なICTスマートコミュニティプラットフォーム社会を構築し、住んでよし・訪れてよし、安心・安全で地域力の高い社会を実現する。

### 取組方針

- ①多様なステークホルダーの地域コミュニティICTネットワークを活用したプラットフォーム構築
- ②地域を取り巻く自然環境の保全・活用や地産地消のエネルギーシステムなど環境に優しいまちづくり
- ③まちづくり会社を創設し、データベースマーケティング・地域通貨で支える持続可能な仕組みを構築

並行して進める取組: 環境-3  
超高齢化対応-1、2

## 創造される新しい価値

### 環境価値

- ・温室効果ガスの排出量減(コミュニティバス等の利用促進による)
- ・再生可能エネルギー活用による省電力化、温室効果ガス削減
- ・教育啓発プログラムやツーリズム展開による地域環境の保全活用

### 社会的価値

- ・高齢者の社会参画
- ・ソーシャルキャピタル(信頼関係、絆)の向上
- ・コミュニティの再構築、地域への愛着と誇り、安心感醸成

### 経済的価値

- ・観光及び関連ビジネスの創出による地域経済活性化、雇用の創出
- ・高齢者を含めた行動機会の増加による消費拡大
- ・医療費や情報配信コストの削減

# 地域力を結束したEまち未来づくり

地域力を結束した、住んでよし・訪れてよし 安心・安全、元気で楽しいEまち未来づくり



## 自然と人を中心とした教育プログラム 地域住民と観光・来訪者交流プロジェクト

**自然環境の教育ツーリズム  
さわらの自然 100年物語**  
環境啓蒙+観光プログラム

シーサイドもちち沖穴埋め→食観業・生態系実験・環境データを活用  
さわらの自然 環境クリーンアップ ツーリズム  
豊多の自然と食でつくづくグリーン&グリーンツーリズム(商店街・観光施設連携)

**自然環境やアジアと密接したコンパクトシティを活かす修学旅行プログラム**  
自然・エネルギー・職業体験・エンタメ・国際交流と貢献を都会でパッケージ

風レンズ風車 ももち浜 地引網 西南生協寄付金付きランチ 西南大学留学生交流  
リヤカー部隊おばちゃん交流 千原寺 産婦体験 YD-ームのお仕事 高取港でびおり教室

地産コンテンツ案内人育成 Eまちづくり X JTB

## ICTコミュニケーション プラットフォームプロジェクト

高取公民館&地域自治会放送局 社会実験  
楽しい地域情報を配信

「ワシも行こうかの!」  
「夏祭り やってるよ!」  
「ホークス音頭 聴こうよ!」

各世帯

地域ネット中継 自宅でも参加も可能。「市政だより」もデータ配信

高取公民館放送局  
民生委員  
本庁

各家庭

民生委員の高齢世帯

# 地域力を結束したEまち未来づくり

## 目標:持続可能なICTスマートコミュニティ&ソーシャルキャピタルプラットフォーム社会の構築

民間企業アライアンスによるシェアレベニューをまちづくり原資へ

産学官民は地域通貨ポイントを発行して“発行量”を増やし、誰でも使える電子マネーとも連携し、“魅力的な交換先”を増やし、地域社会の新たな循環を創出します。



流通が拡大し、好循環する仕組みを構築

地域は地域でつなぎ支えるソーシャルキャピタルプラットフォーム(コミュニティバス・福岡西部Eまちカード地域通貨システム)

ひとつの地域や行政縦割りを越えた課題を解決するソーシャルキャピタルを面で展開

※まちづくり会社は、B2C企業(消費財メーカー等)のセールス & プロモーションを代行し、レベニューシェアを確保する。



**まちづくり会社**  
エリアソリューション

- 企業商品開発リサーチ
- セールス & プロモーション
- 地域通貨マネジメント
- 地域コミュニティサービス
- プラットフォーム情報配信サービス

SoftBank



- ・ツイッターコミュニティ見守りネット
- ・地域放送局
- ・民生委員インタラクティブネット

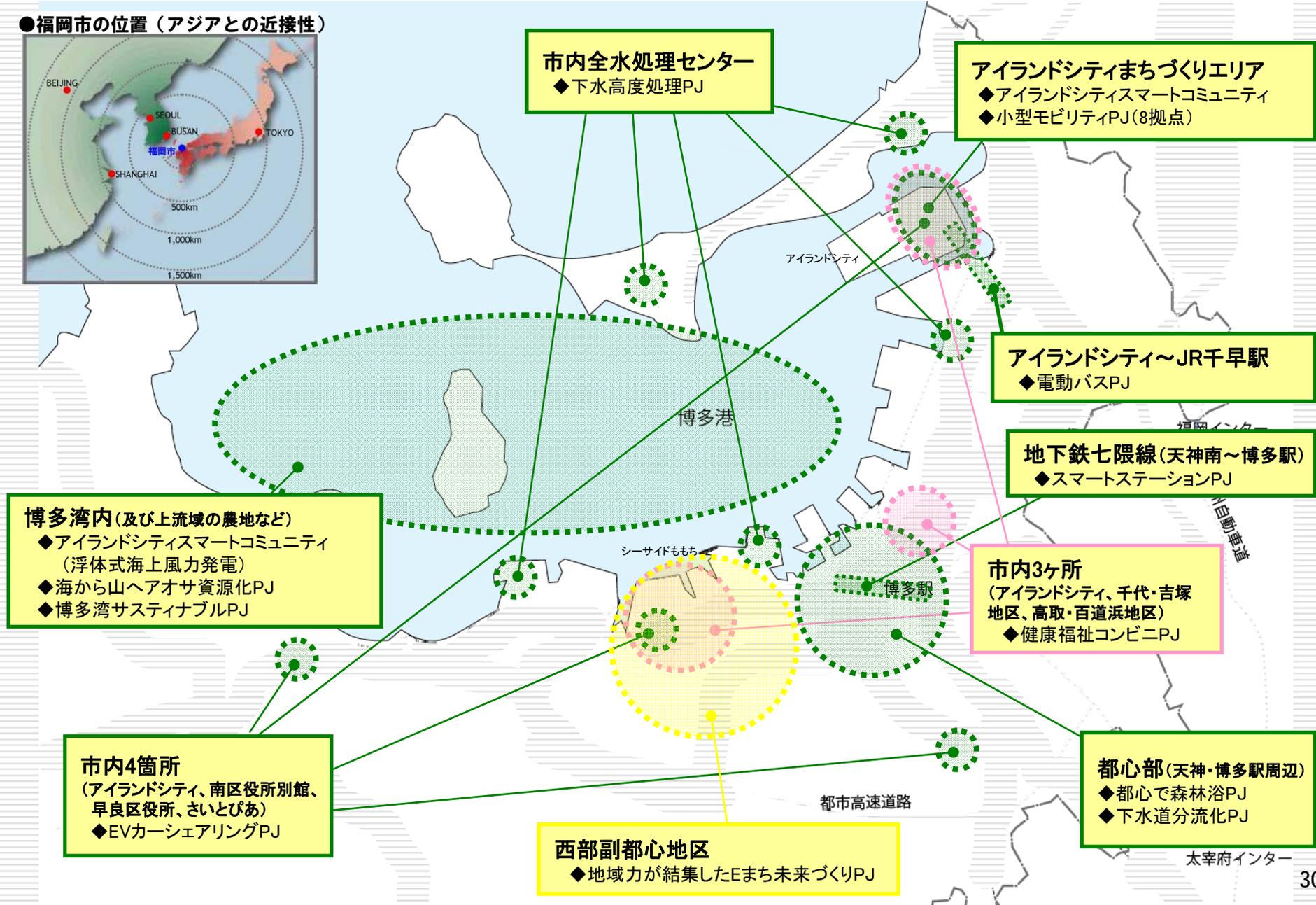
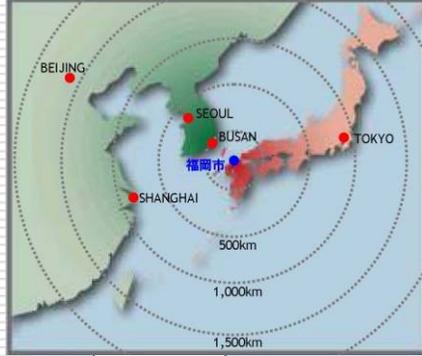
まちづくり会社による地域経済循環の仕組み(ICTソーシャルコミュニティ プラットフォーム)

- 
- 福岡市が目指すべき将来像 P.3
  - 環境－1 低炭素・省エネルギー(自律分散型エネルギーマネジメントシステム) P.7
  - 環境－2 低炭素・省エネルギー(カーボンゼロの移動) P.9
  - 環境－3 自然環境・生物多様性(海) P.11
  - 環境－4 自然環境・生物多様性(みどり) P.13
  - 超高齢化対応－1 アクティブエイジング シティ福岡 P.16
  - 超高齢化対応－2 健康福祉コンビニ・生活支援ヒューマンサービス開発 P.18
  - 超高齢化対応－3 東アジアとのエイジング研究・技術移転PJ P.20
  - その他－1 快適環境ショーケース P.24
  - その他－2 自律可能な住民主体の地域づくり P.26
  - 取り組みの実施エリアとプロジェクト全体の推進体制 P.30

# 福岡市環境未来都市構想の実施エリア

※多くのPJは将来的に市内全域を対象を拡大するものであるが、  
 実証実験等を実施・検討中のエリアを下記に図示したもの  
 ※下図に記載されていないPJの対象エリアは市内全域

## ●福岡市の位置（アジアとの近接性）



**市内全水処理センター**  
 ◆下水高度処理PJ

**アイランドシティまちづくりエリア**  
 ◆アイランドシティスマートコミュニティ  
 ◆小型モビリティPJ(8拠点)

**アイランドシティ～JR千早駅**  
 ◆電動バスPJ

**地下鉄七隈線(天神南～博多駅)**  
 ◆スマートステーションPJ

**博多湾内(及び上流域の農地など)**  
 ◆アイランドシティスマートコミュニティ(浮体式海上風力発電)  
 ◆海から山へアオサ資源化PJ  
 ◆博多湾サスティナブルPJ

**市内3ヶ所**  
 (アイランドシティ、千代・吉塚地区、高取・百道浜地区)  
 ◆健康福祉コンビニPJ

**市内4箇所**  
 (アイランドシティ、南区役所別館、早良区役所、さいとびあ)  
 ◆EVカーシェアリングPJ

**西部副都心地区**  
 ◆地域力が結集したEまち未来づくりPJ

**都心部(天神・博多駅周辺)**  
 ◆都心で森林浴PJ  
 ◆下水道分流入化PJ

# プロジェクト全体の推進体制

## 環境未来都市ふくおか推進機構(仮)

